

さいたま市長 7月定例記者会見

平成29年7月20日（木曜日）

午後1時30分開会

- 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社のテレビ埼玉さん、お願いいたします。
- テレビ埼玉 7月の幹事社を務めますテレビ埼玉と申します。よろしく申し上げます。
それでは、本日の記者会見内容につきまして市長から説明をお願いしま
す。

- 市 長 皆さん、こんにちは。
- さて、さいたま市では平成21年度から市民の皆さんの声を直接お聞き
する場としてタウンミーティングを実施しております。これまで121回
開催をいたしまして、2,490人を超える方々からさまざまなご意見あ
るいはご提案を頂戴し、市政に反映してまいりました。

今年度は、防犯のまちづくりをテーマに今月29日の土曜日から9月に
かけまして10区を訪問する予定でございます。各区で参加者の皆さんと
直接お話しできることを楽しみにしております。

市長発表：議題1 J:COM presents 2017 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム 大会100日前PRを実施します！

それでは、本日の議題に移らせていただきます。議題1「J:COM presents 2017 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム大会100日前PRを実施します！」について、説明をしたいと思います。

6月27日にコースを発表し、7月14日からオフィシャルサポーターズの募集を開始したところでございます。また、大会前日に実施しております市内交流会を一般の方にもご覧いただけるようなオープンなイベントとする計画であることをお伝えしました。

フランスでは、ツール・ド・フランス本大会が終盤戦を迎えております。昨夜時点ではクリス・フルーム選手が個人総合1位の象徴でありますマイヨジョーヌを着ておりますが、最終的に誰がマイヨジョーヌ獲得となるか私も楽しみにしております。

また、さいたまクリテリウムを多くの方のお楽しみいただけるようPR活動を本格化させていきたいと考えております。本日は、これまでのPR実績とともに、100日前PRについて説明させていただきたいと思いません。

初めに、ツール・ド・フランス本大会におきまして実施いたしましたプロモーションについてでございます。

7月6日の第6ステージゴール地点及び7月7日の第7ステージスタート地点におきまして、世界各国から取材に来ておりますメディアに対しまして、さいたまクリテリウム及びさいたま市をPRしてまいりました。訪問した職員によりますと、「日本から来た」と言いますと、各国の記者から「SAITAMA?」と問いかけられるなど、さいたま市の名前が海外でも知れ渡ってきていると実感したと聞いております。

特に和のコンセプトで作成しておりますメインビジュアル、このポスターでございますけれども、海外からも大変好評であったと伺っております。

今年は、現地でのPR効果をさらに高めるため、ツール・ド・フランス本大会のSNSや日本人で唯一出場しております新城幸也選手が所属しておりますチームのSNSでも取り上げていただくことができました。今年は、本大会開催中に国内のみならず国外のツール・ド・フランスファンに対しまして、さいたまクリテリウムを知っていただく機会を創出いたしました。

さらに、さいたまクリテリウムの公式ツイッターでは、ツール・ド・フランスを現地取材しております日本人記者、山口和幸氏にご協力をいただきまして、SNSの内容だけではなく、ちょっとした裏話など、こういう形（スライド資料参照）で情報発信をしていただいているところでございます。

そのほか、ツイッターでのプレゼントキャンペーンの結果、フォロワーの数を増やしており、さいたまクリテリウムのPR効果は高まっていると認識しております。

こちら（折れ線グラフ）は、5月1日から7月10日の期間におけるツイッターフォロワー数の増加数の累計推移となっております。この青い線が2016年の数値、そしてこの赤い線が2017年の数値でございます。

2016年のこの期間におけるフォロワーの増加数は599件でしたが、2017年では965件に増加しております。今年は、特にツール・ド・フランス本大会が始まった7月からフォロワーの数の増加が大きくなっております。今後もさまざまな取り組みを仕掛け、フォロワーの数の増加につなげていきたいと考えております。

また、SNSでのさらなる情報拡散を目的として、新たな企画でございます「さいくり広報部」を設置いたします。さいくり広報部は、自転車好きな男子、女子の集まりで、自らのSNSを使ってさいたまクリテリウムの情報を広めていくものでございます。

部長には、さいくり広報部の象徴としてタレントさんを1名起用いたします。タレントにつきましては、7月26日に開催いたします部長就任式において公表させていただきます。

部員は、「大学コンソーシアム」さいたま加盟大学の学生から募集いたしまして、事前プロモーション、また大会前日、当日のイベントに参加することで、自由な目線でSNSによる情報発信をしていただきたいと思いますと考えております。

学生たちの同世代に広めるためのPR施策を大会事務局とともに企画・実施をしていきたいと考えております。毎年約10万人を集める国際イベントに直接触れることができます。参加される学生にとっては、非常によい学びの機会になるのではないかと期待しているところです。

次に、100日前PRイベントについて説明をしたいと思います。この100日前PRイベントを7月27日の木曜日に実施いたします。こちらは昨年行った100日前イベントの様子でございます。時間は12時から18時まで予定をしております。

JRさいたま新都心駅の東西自由通路においてイベントを実施いたします。東西自由通路に懸垂幕やバナーで装飾いたしまして、大会会場となるさいたま新都心駅を黄色に染めてまいります。

大型ビジョンでの大会PR動画放映、またオフィシャルグッズや大会記録写真等の展示、大会PRのチラシ配布も実施いたします。私も15時30分からこのPR活動に参加させていただく予定でございます。

また、この100日前PRに合わせて実施した新たなSNS企画、「みんな

「さいたまクリテリウム」についてご説明をいたします。これは、ツイッター、あるいはインスタグラムにおきまして、自分自身にとっての大会の魅力、また思い出を投稿していただく企画となります。大会プロモーションに参加していただくことで大会を身近に感じていただけると考えております。

さいたまクリテリウムを見ていただいた方からの声は、わかりやすい体験談として伝わりやすいという効果を期待しております。この企画を通じまして、今まで運営側で気づかなかった大会の魅力、またその魅力に対してさまざまな楽しみ方があることがわかりました。

画面の右側にイメージを掲載しておりますが、SNSを使っていない方々にも大会の魅力を伝えるために、応募していただいた皆さんの声を、個人総合（黄色）、ポイント賞（緑）、山岳賞（赤玉）、そして新人賞（白）の4賞ジャージ柄のスライドに表示をしてPR動画としてまとめてまいります。100日前PRを実施する7月27日から新都心駅前ビジョンなどで放映をまいります。

最後に、さいたまクリテリウムをPRするため、都内の映画館におきまして、映画本編前に上映されますCM、「シネアド」で約15秒のPR動画を上映いたします。

上映映画館は、TOHOシネマズ渋谷とユナイテッド・シネマアクアシティお台場でございます。両映画館ともに今週末の7月22日土曜日から上映を開始いたします。

上映期間中、2つの映画館の合計18スクリーンにおきまして、全ての映画の開始前にPR動画を上映いたします。合計で約6,300回の上映を予定しております。

以上で議題1の説明を終わります。今後ともさいたまクリテリウムの応援をしていただきたいと思います。

市長発表：議題2 「さいたま市保育体感ツアー」を実施します。～東北、信越地方等の学生を対象に市内保育施設や文化・観光施設をバスで巡る～

続きまして、議題2「さいたま市保育体感ツアー事業の実施について」をご説明させていただきます。

まず、本市の子育てをめぐる現状について説明をさせていただきます。本市の子育てをめぐる現状と課題でございますが、本市ではこれまで待機児童問題解消のために加速的に保育施設の整備をし、定員の増を図ってまいりました。女性の社会進出、あるいは共働き世帯の増加など、今後も保育需要は伸びる見込みとなっております。今後も一人でも多くの子供が希望する保育施設に入所できるように、引き続き保育施設を整備していく必要がございます。

それに伴いまして、保育士確保策の強化、これが必要でございます、平成30年4月に向けて新たに300人から400人の保育士が必要と見込んでおります。その中で、本市として保育人材確保に向けた主な施策について説明をさせていただきます。

まず、保育士の確保に関する施策といたしましては、県内をはじめ東北、北陸地方等の保育士養成施設を訪問いたしまして、本市の保育施設や施策をPRする「保育士採用プロモーション活動事業」、また新たな保育士確保策として、これからご説明いたします「保育体感ツアー事業」を始めます。

また、潜在保育士の再就職を支援する施策としまして、潜在保育士に最新の保育知識に触れていただき、再就職へつなげる「潜在保育士再就職支援セミナー」ですとか、あるいは再就職に必要な費用について40万円を限度に貸し付ける「保育士就職準備金貸付事業」、また未就学児を持つ保育士の保育料の一部貸し付けを行う事業を実施しております。

加えまして、保育士の処遇改善や就業継続として、市独自で民間保育施設の職員給与に年額19万3,500円を上乗せ補助する処遇改善、あるいはひとり暮らしを始める保育士の家賃を月額8万円まで助成をいたします「保育士宿舍借り上げ支援事業」、その他保育の質の向上に資する各種研修の充実に力を入れております。

このようなさまざまな施策を実施していく中で、今回新たに実施をいたしますのが保育体感ツアーでございます。まず、この保育体感ツアーの事業概要及び狙いがございますけれども、この事業は首都圏の保育施設への就職を希望する地方の学生を対象にしまして、市内保育施設や観光施設等を1日バスで巡る体感ツアーを実施するものでございます。

事業の狙いとしては、市内の保育施設の魅力や、あるいは本市で働く楽

しき、また住みやすさを実感してもらい、一人でも多くの保育士を市内の保育施設への就職につなげていこうというものでございます。

それでは、保育体感ツアーの内容について説明をいたします。対象者でございますが、大宮駅から新幹線による交通アクセスのよい主に宮城県、福島県、新潟県を中心とした地域の保育士養成校の学生が対象でございます。募集人数は60名、ツアー1回の定員は15名でございます。4回実施をいたします。実施時期は、7月25日火曜日を第1回といたしまして、その後9月までに3回実施をする予定となっております。参加費は無料としておりまして、往復の新幹線費用を市が負担することで学生が参加しやすいようにしていきたいと考えております。

そして、体感ツアー行程のモデルでございますが、9時半に大宮駅西口に集合いたしまして、「のびのびプラザ大宮」内でオリエンテーションを実施いたします。その後、保育施設や子育て支援施設を見学していただきます。また、市内の文化観光施設等も見学しまして、氷川神社、盆栽美術館なども予定をしております。そして、最後に大宮駅に戻って解散という運びとなります。

次に、市内の保育施設を巡るイメージについてご説明をいたします。学生に本市の保育施設を巡っていただき、明るい保育環境やいきいき働く先輩保育士の話を紹介していこうと考えています。一度見学に来てもらえば、就職を考える上で一つのきっかけになると考えております。

また、首都圏に就職を希望する学生に本市の文化施設や観光施設をあわせて紹介してまいります。本市が都会と自然の調和がとれた住みやすいまちであること、氷川神社や盆栽などの歴史や文化にも触れていただき、本市の魅力を十分にPRしてまいりたいと考えております。また、本市の魅力や住みやすさをPRすることで、首都圏の中から本市を就職先として選んでいただきたいと考えております。

最後に、改めて保育体感ツアー事業のメリットについてご説明をいたします。本市の保育施策や保育施設の魅力、また本市で働く楽しさや住みやすさを効果的に発信でき、また保育士を目指す学生にとっては本市の保育施設を有力な就職先として認識してもらうことができる事業であると考えております。

県外の学生に就職先として本市の保育施設を選択してもらい、就労に結びつけていくことで、保育施設の安定した運営を確保していきたいと考えております。今後も保育士の給与改善補助、また保育士用の宿舎借り上げ支援事業などの施策を継続実施していくとともに、昨年度から実施しております東北、北陸地方等の保育士養成施設への保育士採用プロモーション活動に加えまして、今年度新たにこの保育体感ツアーを実施することでさらなる保育士の確保につなげていきたいと考えております。

私からは以上でございます。

○テレビ埼玉

ありがとうございます。

それでは、市長からの説明について質問をお願いいたします。

議題 2 に関する質問

○日本経済新聞

今の保育体感ツアーなんですけれども、去年プロモーション活動事業が始まって、その去年の取り組みの実績、状況というのはどれぐらいで、それがいまいち効果がないので、これを加えてやるのか、その辺の新たにやる意義づけみたいところをもう少し、一言いただければ。

○市長

それでは、ご質問にお答えします。

まず、昨年実施しましたプロモーション活動の効果でございます。平成28年度は、活動を行った地域から市内の保育施設への就職に関する問い合わせが多く寄せられました。保育施設への調査では、東北、北陸、近県等でプロモーション活動を実施した地域の保育士養成学校の学生の採用は、平成29年4月時点で市が把握している範囲でございますけれども、12人と聞いております。プロモーション活動によります一定の効果があったと考えております。

今後も引き続きこの傾向などを分析しながら、この保育士採用プロモーション、それからこの体感ツアー、こういったものを連動させながら実施をしていくことで、この市内の保育施設の魅力や、あるいは本市のさまざまな保育施策をPRして保育士の確保につなげていきたいと考えております。

○時事通信

時事通信です。

今の保育士の関係で、12人ということなんですけれども、昨年度というか、今年の4月1日は、保育士そのものは何人程度、何施設で新たに必

要で、何人確保されたのかということと、その来年の4月に向けて三、四百人必要だということの根拠、これは公民の認可保育所のことなのか、そのあたりをちょっと教えていただいてもよろしいですか。

○ 事務局 まず、去年の採用人数でございますけれども、私どもの調べた範囲内で把握している人数では、新規保育士採用者は626人でございます。全て民間施設、245施設でございます。そのうち新卒者の採用者数は197名でございました。

また、今市長のほうから話がありましたように、プロモーション活動を実施した地域からの方は12名でございました。

○ 時事通信 今の数字って、4月1日ということでもいいんですか。

○ 事務局 この4月でございます。

それから、「来年に向けて」でございますけれども、今年度当初予算ベースでございますが、1,332人の定員増を図ることとしております。その増員の内訳でございますけれども、(認可保育園の)新設・増改築、賃貸による整備を含めまして20(施設)でございます。この1,332人(の定員増に対応した施設)を運営するに当たりましては、今年度も300人から400人新たに採用する必要があることから、そういった数字をお話しさせていただいたということでございます。

○ 時事通信 今のは公立はなく、民間。

○ 事務局 民間です。

○ 読売新聞 読売新聞と申します。

保育体感ツアーの関係で、参加者60人程度ということですが、大体1人当たりの参加費、市が負担するということですが、大体どのくらいかかるものなのでしょうか。

○ 市長 事業費は、約200万円でございます。

○ 読売新聞 60人分ということですね。

○ 市長 はい、そうです。

○ 読売新聞 これが該当するのかわかりませんが、昨今自治体が企画するツアーが旅行業法に抵触するという話がちょっと指摘されて、問題になっておりますけれども、今回のこのケースというのはその旅行業法的には問題がないケースになるのでしょうか。ちょっとその辺をお聞かせください。

- 事務局 「旅行業法に抵触」というお話で、旅行業法とは報酬を得て運送や宿泊のサービスをすることがその定義になってございます。今回は学生さんの負担はゼロでございますので、そもそも旅行業法には抵触しないと考えてございます。
- 読売新聞 学生さんが負担をせずに、市がそれを出している場合は抵触しないということによろしいんですか。
- 事務局 旅行業法の第2条の定義におきまして、「旅行業とは報酬を得て運送や宿泊サービスを提供する」ことが定義になってございますので、そもそも(学生から)報酬を得ておりませんので、それには抵触しないと考えております。
- 読売新聞 あと、運営は、旅行会社さんなどは入っていらっしゃるのでしょうか。
- 事務局 近畿日本ツーリストに委託をして行う予定でございます。
- 読売新聞 わかりました。ありがとうございます。
- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
今のに関連してなんですけど、これは各回定員15人はどうやって。申し込みが多かった場合は選ぶんですか。それとも先着順とか、どういうふうにして選ぶんでしょうか。
- 事務局 基本的には先着順でございます。15人の定員でございますが、一応バスの定員等がございますので、その辺で1回当たり15名に設定した次第でございます。
- 読売新聞 保育士の獲得をめぐって、東京23区、都内の自治体なんかでも手当を増額するんだとして、かなりお金をかけて保育士を集めている状況があるかと思います。同じ首都圏の周辺市から見て、やっぱり都内の自治体がそういうふうには手当を加算すると、やはり都心部に保育士になり得る人材が流れていく、そういう傾向が起こりがちなのですけれども、こうした状況について、やっぱり首都圏の同じ保育士を必要とする自治体としては、どういうふうにごらんになりますでしょうか。
- 市長 現時点で保育所に対する市民ニーズが非常に高いという現状がございますので、その中でポイントはハード面を整備することと、保育士を確保することが大変大きな課題になっています。実態として、保育園のハードを整備しても、実際に安心して子供さんを預けられる環境がしっかりできて

いないと、これはもう安心につながらないこととなります。そのためには、良好な保育の質を確保する。そのためには、保育士をしっかり確保することが必要だと思います。

ただ、昨今非常にそのニーズが高くて、各自治体で保育所を増やし、また保育士をそのため確保するということが起こっておりますので、そういう意味ではそのニーズに私たちもしっかり合わせるためにも人材を集めること、それからしっかりと人材を研修等して、十分な保育をしていただけるような環境を作っていくことを、まず私たち自治体としてはしっかりとやる必要があると思います。

- **読売新聞** 都心部の自治体がお金をかけて、具体的には手当を増やすなどして保育士を集めている中で、さいたま市としてはそういうふうに向って対抗していくというのがどこまでできるのかなという話と、あとこうしたプロモーション活動とか保育体感ツアーという、手当に限らないこうした募集の施策というのは手当の加算以外のところで、そのさいたま市などが見出している方向性としては、そういった方向をとらざるを得ないという面もあるのかなという気もしますが、その辺はいかがでしょうか。
- **市長** 現時点としては、保育士の処遇改善につながるような取り組みを強化していく中で、この保育士の確保策にも力を入れていかなければならない状況だと思っております。また、保育士の資格を持っていて、保育士として活動されていない方々もたくさんいらっしゃいますので、あわせてそういった方々にも活躍いただけるような機会、あるいはそのための働きやすい環境づくりをあわせてやっていくことで、この安定した保育士の確保につながっていくと思っております。

議題 1 に関する質問

- **時事通信** クリテリウムの広報部なんですけれども、これっていつ設置して、何人ぐらいで活動してもらうイメージなのかというのと、大学コンソーシアムさいたまの12大学というのは、基本的にはさいたま市にあって、これが全てという理解でよろしいのでしょうか。
- **市長** まず、募集人数については、現状としては制限をしておりません。各大学に募集をお願いして、自転車に興味を持っている多くの若い皆さんに、100日前イベントに参加をしていただく予定でございます。

それから、大学コンソーシアムさいたまの方だけに、現状としては対象を絞ってございます。

- 時事通信 これ全部なのですかね、市内にあるのは。
- 市長 一部隣接している、例えば県立大学ですとか、あるいは住所はお隣の上尾市になっていますけれども校舎の敷地一部はさいたま市にある聖学院大学とか、あるいは共栄大学などは春日部市でございますので、おおむね本市ないし本市に隣接している大学が今参加して、この大学コンソーシアムさいたまをつくっていただいております。私どもは、その大学の皆さん、あるいは大学コンソーシアムさいたまといろいろな形で協定を結んで、いろいろな事業に参加をいただくということで、教育的な要素も含めて、お互いに協力、連携をしている組織でございますので、その大学の皆さんと今回も連携をするということです。
- 時事通信 今も募集しているということいいんですか。
- 市長 はい。
- 時事通信 それで、いつ付で設置したという、そういう。26日の就任式が実質的な設置になるのかどうかみたいなところを、ちょっと関係を教えてください。
- 事務局 設置日につきましては、正式に何日ということではございませんが、部長の就任が26日に就任式を予定してございますので、26日にスタートで、27日の大会100日前イベントから部員の方々が活動するとお考えいただければよろしいかと思えます。その後、市内のサイクリング体験記事の製作や掲載等、それからさいたまクリテリウムカフェなど、さまざまな機会を捉えて活動していただけるように今段取りをしているところでございます。
- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
クリテリウムに関して、シネアドの件なのですけれども、さいたま市はこれまでにそういう映画の上映前の時間を使ったPRというのをやったことがあるかということと、あと映画館が渋谷とお台場で、あと期間が8月の中旬までと10月20日までと実施の内容が違うのですけれども、渋谷とお台場を選んだ狙いとか、そういうの、もしあれば教えていただければと思います。

- 事務局 こういった映画館を使つてのPRは、昨年におきましてはさいたま市内で行いましたフランス映画祭におきまして実施しております。こちらのTOHOシネマズ渋谷とユナイテッド・シネマアクアシティお台場、この2カ所を選んだ点につきましては、実はこちらの事業につきましてシティセールス部のほうで、市のPRということでこういったことを初めて取り組んでいただいたところでございます。詳細につきましては、後ほど確認してお答えさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。
- （会見後回答：「TOHOシネマズ渋谷」は都内でも人気の高い映画館で、毎年多くの来場者があると聞いていること、「ユナイテッド・シネマズ アクアシティお台場」は今年4月に新設されたばかりの映画館であり、話題性が高いことから選択しました。また、どちらも都内や近郊の在住者に加え、観光客など様々なエリアからの訪問者が多いことから、より広範なエリアへの周知効果を期待しています。上映期間の違いについては、過去の観客動員数と広告代理店との協議を基に検討し、8月の夏休み期間中を中心に、より長期の告知を目的としつつ、それぞれの上映期間を設定しました。）
- 埼玉新聞 では、先ほどおっしゃったフランス映画祭ですか、それ以外の普通のさいたまに関係ないところの映画館でPRするのは初めてということですね。
- 事務局 はい、そのとおりでございます。
- テレビ埼玉 そのほか質問よろしいですか。

幹事社質問：

- ① 県議会議員の政務活動費の問題について
- ② 市の暑さ（熱中症）対策について

そうしましたら、幹事社として幹事社質問のほうをさせていただきたいと思ひます。質問はまとめて行ひますので、よろしくお願ひいたします。

まず1点目ですが、先日埼玉県議会の沢田力議員が政務活動費を不正に受給していたということで議員を辞職されました。沢田議員は、さいたま市議を2011年まで3期連続で務めておられましたが、今回のような政治とカネの問題について清水市長はどのように感じられますでしょうか。

また、今後万が一市議会でも同じような問題が浮上した場合、市としてはどのような対応をされていきますでしょうか。

次に、2点目です。ここ数週間、県内では連続して真夏日を観測しまして、先日梅雨明けもしましたけれども、今月8日の高校野球の埼玉大会開会式では13人が症状を訴えるなど、熱中症患者も大変増加傾向にあります。さいたま市としては、暑さ対策にはどのように取り組んでおりますでしょうか。特に今シーズンから始まったものなどがあれば教えてください。

以上2点について、よろしくお願いいたします。

○ 市 長

それでは、幹事社質問に順次お答えをしたいと思います。

まず、1点目の県議会議員の政務活動費の問題についてからお答えしたいと思います。新聞報道等によりますと、県議会における政務活動費約545万円を受給していたにもかかわらず、実際には支出をしていなかったと報道されております。事実であれば、政務活動費の不正流用であり、県民の信頼を著しく裏切る行為で、大変残念なことであると考えております。

7月12日に県議会議長宛てに辞表を提出したことで、政治家として自ら進退について決断をしたことについては理解をしたところでございますけれども、しかし現時点において何の説明もなく、しっかりと釈明をしていない、説明をしていないことについては、一連のこの疑惑についてふたをしてしまうことにつながるのではないかと、大変危惧をしているところでもございます。

40代の県議会議員として、さらに多くの方から期待をされ、また活躍をされていた中で、今回の不祥事はその信頼を裏切る行為であり、大変残念であると考えております。今後このような不正行為を再発させないためにも、ご本人から一連の疑惑についてしっかりと説明をしていただきたいと思います。

また、市議会で同様の事態が発生した際の対応についてでございますが、政務活動費は地方自治法の規定に基づきまして市が条例を制定し、議員の調査研究、その他の活動に資するため、必要な経費の一部として交付される経費となっております。

本市では、さいたま市議会政務活動費の交付に関する条例等によりまして、交付対象、交付額等が規定をされております。さいたま市議会では、他市に先駆けた取り組みとして、専門的な見地から、公認会計士による領

収書等の全件確認を行うなど、条例の趣旨に沿った適正な運用となるようさまざまな改革を行っているとの認識をしております。

政務活動費に関する不正がないことが第一でございますけれども、万が一今回と同様な事態が発生した場合には、まずは収支報告書を初めとする関係書類について詳細な調査を実施することが急務であり、事実関係を明確にする必要があると考えております。

なお、さいたま市議会では、広報紙の印刷あるいはポスティングに関するものは、領収書の原本、また印刷、また配布をした広報紙、そしてその部数、その配布先まで確認をして、可能な限りの調査をしていると伺っております。私といたしましては、今回の報道のような同様の不正はないものと考えております。

続きまして、熱中症対策についてでございます。まず初めに、先日大宮区にお住まいの100歳の女性が熱中症の疑いでお亡くなりになったという報道がございました。心からお悔やみを申し上げたいと思います。大変暑い日が続いております。ご高齢の方に限らず、皆様もエアコンの利用、また小まめな水分補給を心がけていただきたいと思いますと思っております。

さて、今年度は5月から熱中症による救急搬送が発生しております。例年7、8月は、特に救急搬送者数が増加をいたしますので、熱中症対策が必要な時期になります。本市におきましては、熱中症対策として環境省から通知される暑さ指数に応じまして、特に暑くなる日には防災無線を実施するほか、区役所の催事情報システムによる啓発、また埼玉スタジアム2002、NACK5スタジアム、あるいはアルシェビルでの大型映像装置を活用した注意喚起を実施しております。

また、チラシ、ポスターを作成しまして、区役所あるいは図書館、学校等で掲示をしているほか、民生委員の皆様にはチラシをお渡ししまして、訪問活動の際にご活用いただいているところでございます。

さらには、暑いときに市民が気軽に涼むことができる場所として、「まちのクールオアシス」を設置しております。まちのクールオアシスは、平成25年から事業を開始しておりますが、施設数は年々増加しておりまして、現在108カ所に設置をしております。施設の一覧につきましては、市のウェブサイトにて情報提供しております。

また、学校現場における熱中症対策といたしましては、小まめな水分補給、あるいは休憩時間の確保に努めるほか、部活動などの休憩場所としてエアコンの効く1階の教室を活用するなどの対策を講じていると聞いております。

また、今年度から始めました熱中症対策の取り組みといたしましては、レクリエーション協会加盟団体の集まる会議の場におきまして、熱中症の注意喚起を行わせていただきました。

なお、今後すぐに救急車を呼んでほしい症状や、救急車を呼ぶべきか迷ったときの相談先、あるいは救急要請時にしてもらいたいことをまとめた「119救急ガイド」を作成しまして、平成30年1月末に市内全戸配布をする予定となっております。掲載内容に、熱中症予防についても盛り込んでおりまして、注意喚起を実施しようと考えているところでございます。幹事社に対する質問へのお答えは以上となります。

○テレビ埼玉 それでは、代表質問の説明に関して、質問がある方はよろしくお願いたします。

よろしいでしょうか。そのほかにある方はよろしくお願いたします。

その他：副市長の退任について

○ 読売新聞 読売新聞と申します。

ちょっと人事の関係でお尋ねしたいのですが、本間副市長が間もなく任期を終えられるということですが、この件について市長のほうから改めて説明をいただければと思うのと、あと4年弱になるんでしょうか、その間の主な実績とか評価、それから今後の副市長の体制について少しお話をいただければと思います。

○ 市 長 それでは、副市長の退任についてお答えしたいと思います。

本間副市長は、平成24年の4月に審議監としてお迎えしたところでございまして、平成25年10月に副市長に就任していただき、これまで3年9カ月働いていただいたところでございます。

副市長としては、主に財政局、それから保健福祉局、子ども未来局を担当してもらいました。地方自治制度のプロフェッショナルとしての知識や経験を生かしまして、現場の課題に即してスピーディーかつ着実に仕事を進めていただきました。本市の政策形成に大変大きな貢献をいただいたと

考えております。

また、国の省庁とのパイプ役としても、大いに活躍をいただいたところでございます。本市職員とのコミュニケーションについても大変密にさせていただきまして、非常に現場の声をしっかりと聞いていただき、それを理解しながら、また一方で職員に対しても叱咤激励をしていただきまして、大変情熱的にお仕事をしていただきました。職員にとっても大変よい刺激になったのではないかと考えております。

これから、「さいたま市新成長戦略」、また「しあわせ倍増計画3」に基づく事業を展開していく中で、ぜひとも本間副市長の力を借りたいとも思っておりますが、今般8月1日付で国の省庁への帰任が決まりまして、副市長を退任されることとなりました。本市としては、まことに残念でございますが、本間副市長のこれまでの尽力に深く感謝をして、今後ますます、また国の省庁に帰任された後も大いに活躍されることを期待したいと思っておりますし、またあわせて引き続きさいたま市についても応援、ご協力をいただきたいと思いますと思っております。

なお、後任の副市長人事については現在熟慮中でございますので、人選あるいは議会への提出時期ともに、現在ではまだ答える段階にはございませんので、ご容赦願いたいと思います。

○ 読売新聞

ありがとうございます。

当面は、そうすると副市長は2人のまま、この体制でやっていかれると捉えてよろしいでしょうか。

○ 市長

そうですね。当面は2人体制になりますが、さまざまな課題や重要案件もたくさんございますので、早い段階でまた3人体制にできればという思いは持っております。

幹事社質問①に関する質問

○ 産経新聞

産経新聞です。

沢田県議の辞職に伴い8月の27日に補選があると思うんですけども、先日藤井健志さんが出馬のほうを表明されました。藤井さんのほう、市長の秘書を務められていたというようなことなどもあると思うんですけども、今回の選挙で候補者支援とか、そのあたりはどのようなことを考えているのか、ちょっと教えていただけますか。

○ 市 長 今回、急遽埼玉県議会議員選挙の補欠選挙が、この大宮区において行われることになったわけでございますけれども、私の秘書をやっていた藤井健志さんが出馬をされると表明されたと同っております。

現時点では、民進党からも候補者が出るというようなことも聞いておりますし、またその他の党についても検討中で、さらに候補者が増えてくる状況でございますが、私としては非常に難しい立場ですので、どういう形で対応していくかについては、何とも申し上げにくいところがございますけれども、ただ、個人的に申し上げますと、秘書として非常に頑張ってくれましたし、政治への情熱も持っている男ですので、ぜひ頑張ってもらいたいという思いは持っております。

ただ、ではどう対応するかについては、今のところまだ非常に難しいところもありまして、現在それぞれ聞いた中で判断をしていくことになろうと思います。

○ 産経新聞 ちなみに藤井さんのほうからは、支援要請ってありましたでしょうか。

○ 市 長 現時点では、出馬についての挨拶はございました。ただ、ご挨拶ということでございまして、本人もいろいろな、私自身の立場も多分わかっているとは思いますが、最終的に政治家の出处進退は自ら決めることだろうと思っておりますので、その中でそういう挨拶をいただき、その中で全力を尽くして頑張ってもらいたいとお伝えさせていただきました。

○ 朝日新聞 朝日新聞です。

今の質問に関連して伺いたいんですけども、市長はなかなか難しいというふうにおっしゃったんですが、その難しいという理由をもう少し具体的におっしゃっていただけますでしょうか。

○ 市 長 これまで地方選挙については、2年前のときも県議選挙については、私自身は応援をすることは基本的にはしないという方針でありましたし、その中で藤井さんについては秘書ということがありましたので、「そこだけは」ということで、あえて応援をさせていただいたところでございます。

基本的には、県議会議員選挙ですので、私が直接かかわることについては、これまでも、またこれから余り積極的にすべきではないと思っておりますけれども、その中で今回また補欠選挙で、例外的に対応していた藤井さんがまた出るということもございまして、あとその中で党派との絡みも、

特定の党派に、与党、そうではないというような関係ではありませんけれども、いろいろな党とのつき合いもある中で、非常に判断しづらいという感じは持っております。

- 朝日新聞 いろいろな党派とのつき合いというふうにおっしゃいましたけれども、それはやはり市長選で各政党が市長のことを応援なさって、所属される議員さんが応援されたわけですけども、そのようなことを具体的には指していらっしゃると理解してよろしいですか。
- 市長 そうですね。基本的には、党派ではなくて、個々の議員さんとして応援していただいております。その中には、民進党の皆さんも入っておりますので、そういう意味で民進党や、あるいはもちろん自民党の議員さんの一部からも応援をしていただいていることもございますので、そういったことも含めると、なかなか特定の候補を応援するスタンスがとりにくいという意味で非常に難しいと申し上げているところでございます。

その他：副市長の退任についての質問

- 朝日新聞 あと、済みません、もう一点。副市長人事のことなのですが、これまで国からいらっしゃった方がお一人はいるようなことも、時期も多かったと思うんですけども、本間副市長の後任について、やはり国からの方をというような思いでいらっしゃるのでしょうか。それとも全く別の選択肢もおありだとお考えなんでしょうか。
- 市長 現時点では、全く白紙でございましてけれども、ただ、さいたま市の現状を考えると、いろいろ国と連携してやらなければいけないことなどもありますし、またさまざまな広域的なネットワークを持っている方の協力も当然必要になりますので、そういったことも含めて総合的に判断して、人選をしていきたいと思っております。
- 時事通信 1点は、本間副市長の件ですけども、8月1日付で省庁に戻るとするのは、退職はいつになるんですか。8月1日付になるんですか。
- 市長 8月1日付で帰任されることになりますので、7月31日で本市を退職することになると思います。

その他：大宮（駅）始発の新幹線について

- 時事通信 もう一点ですけども、先日の記者会見にもありましたが、大宮始発の新幹線の件ですけども、15日に新青森まで大宮から出て17日に戻っ

てくるというのがありまして、また9月にもあるということなんです、
実際走ってみてということで、市長として国に大宮始発の要望もしている
ということもありまして、そこに期待するところを改めましてちょっとお
答えいただければと思います。

○ 市 長 今回の7月15日に大宮始発で新青森までの、17日にまた新青森から
大宮に帰ってくる臨時列車でございましたけれども、大宮始発の一部復活
を要望しているさいたま市としては、その貴重な第一歩を踏み出したと期
待を持っているところでございます。

現時点でも、大宮・東京間の新幹線のダイヤはかなり過密になっており
まして、今後東北新幹線、北海道新幹線、あるいは北陸新幹線の増便など
を視野に入れていくとすると、なかなか難しい環境の中で、この大宮始発
が一部復活することによって、新幹線の増便も可能になることにもなりま
すし、現在私が聞いているところによりますと、特に東京の西側、渋谷あ
るいは新宿、あるいは東京の都下の各市町に帰られる方は、大宮で乗りか
えて埼京線や湘南新宿ラインで帰られる方も、実を言うと非常に多いとい
うお話も聞いておりますので、そういう意味では、これはさいたま市のみ
ならず多くの方々にとっても、この大宮始発が、一部が復活をしていくこ
とは、大変大きいことになると思っています。

特に今後は、外国人観光客がこれから3,000万、4,000万、あ
るいは6,000万という大きな計画がある中で、羽田あるいは成田空港
へ発着をする形だけでは、なかなかそれだけの観光客に対応できない時代
も迎えてくるだろうと思いますので、そういう意味ではそれ以外のさまざ
まな地方空港に来て、そして新幹線で移動して国内を旅行していくような、
そういったモデル、そういったルートがかなり増えてくると予想している
ところでもありまして、私たちとしてはこの大宮始発が一部復活をして、
そして新幹線等のダイヤが増えて、そして東日本全体の地域にたくさんの
外国人、インバウンドを含めて行っていただく、あるいは国内からもたく
さんの方々をそれが活用して国内を移動されると、あるいは旅行されるこ
とを大いに期待したいと。そのことによって、さいたま市が発展すること
にもつながっていくと思っております。

○ 時事通信 その件でもう一点なんですけれども、大宮始発という場合に、何路線か

新幹線が集積しているわけですが、特にどの路線というものはある、東北とか北陸とか上越というものはあるんですか。

- 市 長 基本的にはどの路線も、当然全部とはいきませんが、一部の路線、一部のダイヤについては大宮始発をやっていただきたいと思っております。物理的には、今ホームが3つございますので、ホームという意味では、十分その機能を持っていると思います。ただ、始発となると、違うまたハード的な要素、課題もあると聞いておりますので、それをクリアしたり、超えていかなければいけませんけれども、十分可能なことだろうと私たちは思っておりますので、また9月での臨時列車、あるいはさらに進んで、この大宮始発が何本か増えてくることに大いに期待したいと思っております。
- また、要望もさらにしていきたいと思っております。

- テレビ埼玉 そのほかよろしいでしょうか。

以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。ありがとうございました。

- 進 行 以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。

なお、次回の開催は8月8日火曜日、13時30分からを予定しておりますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

午後2時27分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。